

「令和2年度再エネ電力と電気自動車や燃料電池自動車等を活用したゼロカーボンライフ・ワークスタイル先行導入モデル事業」について展示会に出展しましたのでその様子をご紹介します。



展示会の概要

出展概要

ゼロ・カーボンドライブ（以下、ゼロドラ）やエコドライブの推進事業で得られたEV利用者の声や知見を広めるため、2024年12月4日～6日の日程で開催されたエコプロダクツ展2024の環境省ブースに出展しました。当日は、多くの来場者にめぐまれ、本事業について理解を深めていただくことができました。

※当日配布したパンフレットは[こちら](#)。



↑当日の様子

エコプロ開催概要

- ・日程：2024年12月4日(水)～12月6日(金)
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・来場者数：63,303人（SDGs Week EXPO全体）



紹介したコンテンツ

ゼロドラの推進に関する取組

EVと再エネを組み合わせ、走行時のCO₂排出がゼロとなるゼロドラについて紹介しました。

具体的には、ゼロドラの概要、ゼロドラ施策における再エネの条件を満たす再エネ100%電力メニューの登録状況、EV利用者から頂いた声を紹介しました。

来場者からは、エネマネ^{※1}を含めたEV導入に対する関心の声を頂く一方で、充電器設置や電欠対応等を含む充電インフラを心配する声^{※2}も頂きました。

※1：エネルギーマネジメントの略称。エネルギー使用を最適化するものであり、日中に太陽光発電の余剰電力をEVに充電し、夜間に家庭へ放電する等の運用が可能となります。

※2：EV利用者からは、充電インフラに対する懸念が解消されたとのアンケート結果が得られています。詳細は[こちら](#)。



消費者

電気代の節約に関心があるため、EVを用いたエネマネに興味がある。

電欠時の対応に不安が残る。



消費者



消費者

自宅に充電器を設置する工事が大変そう。

↑ゼロドラの推進に寄せられた声

エコドライブの推進に関する取組

エコドライブについては、エコドライブ推進で構築したポイント付与スキームや同実証に参加した皆様から頂いた声について紹介しました。

来場いただいた事業者からは同スキームの導入や運営方法、消費者からは現時点での参加可否等に関する声を頂き、同スキームに関する関心の高さを感じました。

※ポイント付与スキームの事業者向けパンフレットは[こちら](#)。



事業者

ポイント付与スキームについて、自治体が直ぐに導入可能な仕組みが設けられていれば導入を検討したい。

ポイントが付与されるならば積極的にエコドライブを行いたい。



消費者

↑エコドライブの推進に寄せられた声